

県民の皆さまへのメッセージ

- 先週12日（土）に、本県に「まん延防止等重点措置」が適用されて、1週間を迎えます。

- 非常に感染力の強いオミクロン株の拡大により、これまで経験したことのないような速さで感染の拡大が続いてきました。
本日のデータによると、直近1週間の県内の新規感染者数は、前週と比べて、若干減の0.94倍の水準となり、ピークが近いという兆しも見え始めたと考えています。

- これは、県民の皆さま、事業者の皆さまのご努力、ご協力が効果として現れつつあるのではないかと受け止めています。

- しかしながら、まだまだ油断はできません。1日当たりの感染者数を見ると、200人を上回る極めて高い水準が続いています。

- 全国的な状況を見ても、一旦、感染者が減少傾向に転じた後も、再び増加している事例も少なくありませんし、減少に転じたとしても減少のペースは非常に緩やかです。
また、医療提供体制のひっ迫を示す病床の占有率の指標については、高止まりの状況が続いています。

- したがって、県民の皆さまには、ここで手綱を緩めることなく、引き続き、お一人お一人が感染防止対策を徹底いただきますよう、あらためてお願いします。

- 特に、全国の傾向と同様に、高齢者の方々の感染割合が高い傾向が続いていますので、今後も重症者の数が遅れて増えていくことが懸念されます。

- こうしたことを踏まえ、県民の皆さまには、特に次の点について、あらためてお願いいたします。

<高齢者等の感染防止>

- 高齢者や基礎疾患のある方は、まずは、自らの健康・安全を守るという考え方に立ち、例えば不織布マスクを正しく着用いただくなど、基本的な感染防止対策を徹底してください。
- また、病院や高齢者施設などで、高齢者の方々が感染することを防ぐ必要があるため、高齢者の方々の周囲にいる施設の関係者の皆さまが対策の強化・レベルアップを図っていただくよう、あらためてお願いします。
- さらに、家庭内においても、高齢者の方など、重症化リスクの高い方が同居している場合は、家庭内でもマスクを着用するなど、今までより、もう一段レベルの高い感染防止対策へのご協力をお願いします。

<クラスターの発生した施設の支援>

- クラスターが発生した高齢者施設や医療機関において、入所者や入院患者の方々の健康、命を守るため、継続して医療や介護などのサービスが提供できるよう、県としては、必要なスタッフや医療従事者を派遣する枠組みを整備しています。

必要な場合には、この仕組みを活用することを県に要請いただきたいと思います。

<ワクチン接種>

- 国が示したデータでは、オミクロン株に対するワクチンの有効性について、2回目の接種から6か月経過すると、「発症予防効果」は10%程度まで低下するとされていますが、追加接種を行うと、2週間～4週間後には、この10%程度の数字が60%～75%まで回復すると報告されています。

- また、「入院予防効果」の数字を見ても、6か月後には57%まで下がるところが、追加接種を行うことで、90%まで回復するとされています。こうしたワクチンの有効性は、数字を見ていただければ明らかだと思います。
- したがって、接種から6か月が経過し、接種の機会が回ってきた場合には、県民の皆さまには、できるだけ早く、追加接種いただくようお願いいたします。
- 県民生活に大きな負担となる「まん延防止等重点措置」が予定どおり、来月6日で解除されるよう、引き続き県民・事業者の皆さまのご協力をお願いいたします。
- これ以上、県民の皆さまの生活に負担をかけたくない。その一心で取り組んでいきますので、引き続き、県民の皆さま・事業者の皆さまのご協力を心からお願いいたします。

令和4年2月18日

高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長

(知事) 濱田省司

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（1/2）

「感染症対応の目安」におけるステージ：特別警戒（赤）（令和4年2月18日時点）

赤下線部は2/18に追加

2月12日からのお願い（3月6日まで）

○県民の皆さまへ

- (1) 不織布マスクの正しい着用、3密の回避、十分な換気対策、こまめな手指消毒をはじめとした**基本的な感染防止対策を徹底**してください（**特に重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、ワクチン未接種の方**）。
- (2) 家庭内での感染事例が多く報告されています。部屋の換気、共有部分の消毒、タオルや食器の共用を避けるなど、**家庭での感染防止対策の徹底**をお願いします。特に**重症化リスクの高い方々と同居している家庭**では、**家庭内においても会話の際などには、マスクの着用**をお願いします。
- (3) 接触確認アプリ「COCOA」をインストールしましょう。
- (4) 感染者やその家族、医療従事者等に対し、誹謗中傷や差別的な行為を行わないようにしてください。
- (5) **症状のある方は、検査協力医療機関での受診**をお願いします（行政検査として無料）。
また、**無症状でもご不安のある方は、県が設置する検査会場や薬局等で無料検査**を受けることができます。
- (6) **ワクチンの3回目接種により、発症や重症化を防ぐ効果が回復するとされています。メーカーにこだわることなく、できるだけ早期に3回目のワクチン接種**をお願いします。

○事業者の皆さまへ

- (1) 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策（特に、従業員のマスク着用）を徹底していただくようお願いします。
- (2) 室内の十分な換気、こまめな手指消毒、共有部分の消毒など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
- (3) **在宅勤務（テレワーク）や休暇取得の促進等**により、**出勤者数削減の取組を推進**していただくようお願いします。
- (4) **時差出勤等、人との接触機会を低減する取組を推進**していただくようお願いします。
- (5) **医療機関や高齢者施設においては、感染防止対策の徹底・レベルアップ**をお願いします。

1 会食について

- (1) 同一グループの同一テーブルでの会食は**4人以下**（※1、2）とし、時間は、**2時間以内**にさせていただくようお願いします。
飲食店での会食にあたっては、できる限り「**高知家あんしん会食推進の店**」の認証店を利用させていただくようお願いします。
※1 **同居の家族のみの会食であっても**同一テーブルの会食は**4人以下**としてください。
※2 認証店では、利用者に対する全員の陰性が確認された場合は、「**5人以上の会食**」も可能(注)とします。
- (2) 会話が主となる時間帯には、できる限りマスクの着用を励行するなど、飛沫感染の防止に努めてください。
- (3) 特に、飲酒の場などでの「**献杯・返杯**」や「**大声での会話**」、「**マスクを外してのカラオケ**」など、感染リスクの高い行動は、控えるようお願いします。（注）全員の陰性確認により、制限の緩和を希望する認証店は、県への届出が必要です。

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（2 / 2）

「感染症対応の目安」におけるステージ：特別警戒（赤）（令和4年2月18日時点）

2月12日からのお願い（3月6日まで）

2 外出について

（1）外出の際には、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

（2）**混雑した場所、換気の悪い場所や感染対策が十分でない施設など感染リスクが高い場所への外出は極力控えてください。**

3 他県との往来について

（1）**不要不急の都道府県間の移動は、極力控えてください。** ※検査で陰性が確認された場合は除く

（2）発熱などの症状がある方や体調の悪い方は、他県との往来を控えてください。

4 イベント等について

開催にあたっては、以下の点に注意したうえで、業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底してください。

① **参加人数5,000人超**のイベント開催については、県へイベント開催の2週間前までに「**感染防止安全計画**」を提出してください。

「感染防止安全計画」を策定し、**県による確認を受けたイベント**については、人数上限は**20,000人**(注)、かつ収容率の上限を100%とします。

※「大声なし」が前提（注）全員の陰性が確認された場合は、人数上限は収容定員までとします。

② **①以外のイベントの人数上限は、5,000人**、かつ収容率の上限を「大声なし」は、100%、「大声あり（注）」は、50%とし、人数上限と収容率でどちらか小さいほうを限度とします。

感染防止策等を記載した「チェックリスト」を作成して、ホームページ等で公表し、イベント終了日から1年間保管してください（県への提出は不要です）。

5 県立施設等について 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底したうえで、通常どおり開館しています。

6 県立学校について

（1）**ICTを活用した学習活動**

濃厚接触者となり登校できない生徒等について、ICT端末を活用して学習活動の継続ができる取組を推進します。

（例：授業やホームルームへの参加、課題の送付など）

（2）部活動は、**土日等は原則禁止**し、**平日も週3日以内で1日あたり2時間までに制限**します。

また、県内外における練習試合等は禁止します。（いずれも1/31から対応中）

（3）補習は、**土日等の一斉補習を中止又はオンラインで実施**します。

（注）大声を「観客等が通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとします。

新型コロナウイルス感染症社会福祉施設相互支援ネットワーク

- ・ 社会福祉施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しても、サービスを継続して提供できるように **県内の社会福祉施設による連携の下**、応援職員の派遣や代替サービスを提供する **相互支援ネットワークを構築**
- ・ 応援職員の派遣や代替サービスの提供などの『相互支援』に協力いただける社会福祉施設をあらかじめ登録
- ・ 感染者が発生した施設からの応援依頼※に基づき、職員の派遣や代替サービスの提供施設を調整
※同一法人・グループ内等で可能な限り調整しても、なお職員が不足する場合等に応援を依頼

協力可能施設・職員数等（令和4年1月末時点）

○ネットワーク協力可能施設 279施設（実数ベース）

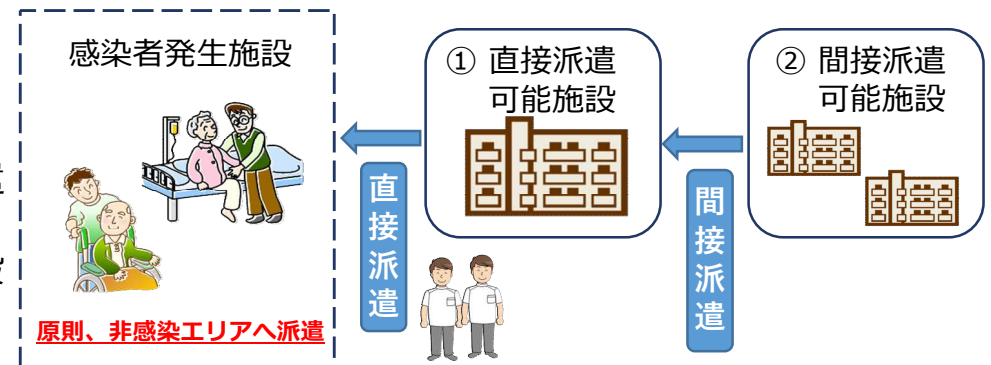
○応援派遣可能職員数 158人（実数ベース）

相互支援の枠組み

(1) 応援職員派遣

ネットワーク協力可能施設 85施設
応援派遣可能職員数 158人

- ① 直接派遣・・感染者発生施設（入所系）への職員派遣
- ② 間接派遣・・感染者発生施設等へ職員を派遣した施設への派遣



(2) 代替サービス提供 [ネットワーク協力可能施設 225施設]

- ① 入所者の短期受入
 - ・ 感染の疑いのない利用者の受け入れ
 - ・ 在宅で介護していた家族が感染したことにより、介護者が不在となった要介護者等へのサービスの提供 等
- ② 居宅サービスの提供
 - ・ 事業所の職員が感染したことにより、サービスを提供できなくなった利用者へのサービスの提供 等

クラスター発生時の医療従事者の派遣の仕組み



高知県医師会等

派遣依頼



高知県健康政策部

県が必要性を判断し、県医師会等に依頼

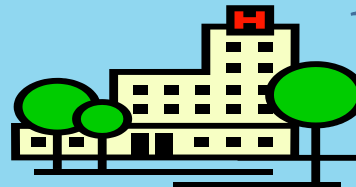
医療従事者派遣

派遣要請

福祉保健所

派遣要請元（活動場所）

クラスター発生



医療機関・福祉施設等

<2/18時点の状況>

①実施中

医療機関（2/17～） 1件

②調整中

高齢者福祉施設 1件

高知県の新型コロナワクチン年代別接種率

	R4/2/16時点			R4/2/13時点			差		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
高知県	86.46%	85.28%	14.94%	86.42%	85.24%	12.34%	0.04%	0.04%	2.60%
全国	88.55%	87.21%	13.14%	88.51%	87.16%	10.41%	0.04%	0.05%	2.73%
65歳以上	90.73%	90.17%	26.17%	90.70%	90.15%	20.16%	0.03%	0.02%	6.01%
60～64歳	87.17%	86.75%	7.80%	87.20%	86.78%	7.18%	-0.03%	-0.03%	0.62%
50歳代	86.48%	85.98%	9.12%	86.45%	85.95%	8.54%	0.03%	0.03%	0.58%
40歳代	79.99%	79.26%	10.03%	79.98%	79.23%	9.46%	0.01%	0.03%	0.57%
30歳代	75.91%	74.88%	9.69%	75.88%	74.85%	9.11%	0.03%	0.03%	0.58%
20歳代	77.95%	76.62%	7.31%	77.86%	76.52%	6.92%	0.09%	0.10%	0.39%
12～19歳	71.88%	70.26%	0.13%	71.79%	70.19%	0.13%	0.09%	0.07%	0.00%

3日間で
14,936人
が接種

※出典：内閣官房「ワクチン接種状況ダッシュボード」、デジタル庁提供データ及び首相官邸公表値を元に作成。

・分母は総務省「令和3年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」による12歳以上人口。

オミクロン株に対する新型コロナウイルスワクチンの有効性等

①ワクチンの発症予防効果

2回目接種の2～4週間後は65～70%であるが、25週間後までに10%程度まで低下。

⇒追加接種の2～4週間後には60～75%まで回復すると報告されている。

②ワクチンの入院予防効果

2回目接種後14～179日は81%であるが、180日以降は57%まで低下。

⇒追加接種後14日以降で90%まで回復すると報告されている。

③交互相種の効果と副反応

1・2回目接種でファイザーを接種した30歳以上の人を対象に、追加接種でファイザー又はモデルナを接種した時の抗体価は、どちらも接種から28日後の抗体価が有意に上昇したと報告されている。

副反応は1・2回目接種と同程度であり、交互相種と同種接種で差がなかったと報告されている。

(第27回、第30回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の資料より作成)